

● 図書館員の文献紹介と資料の活用 ●

知っているのと、知らないでは大違い!! 図書館活用術④

「図書館にない資料の入手方法 その1  
購入希望図書サービス」

————— 栄 咲子 29

本学図書館のスペシャル・コレクションより (57)

アーネスト・サトウが編集した  
『セーリスの日本渡航記』の話

————— 奥 正敬 30~33

映画史に残る不朽の名作

本学図書館の所蔵本から (2)

————— 吉田明弘 34

これぞ本学図書館の主題別書誌データベース①

「明治日本の国際派女性たち」

————— 藤田眞壽美 35

日本の歴史58

『幕末横浜オランダ商人見聞録』

————— 稲垣宏行 36

文献紹介 (4)

中国史いろいろ 『水滸伝』の豪傑達

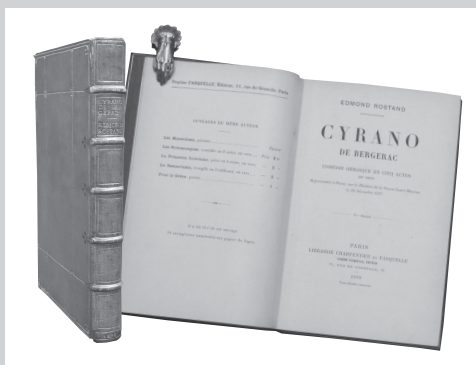
————— 戸田奈緒子 37

Book Review Corner ————— 38~39

● 図書館利用案内 ●

ライブラリー・カレンダー

2019 (4月~6月) ————— 40



ROSTAN, Edmond  
*Cyrano de Bergerac*  
Paris 1898

エドモン・ロスタン  
『シラノ・ド・ベルジュラック』  
パリ、1898

エドモン・ロスタン (1868-1918) はフランスの劇作家です。マルセイユ生まれでパリの高校を卒業後に文芸批評と劇作を始めます。初期の詩作の後、1894年に詩劇『ロマネスク』がコメディ・フランセーズで上演され、その叙情性が好評でした。その後、『シラノ・ド・ベルジュラック』が1897年12月末にパリのポルト・サン・マルタン座で名優コンスタン・コ克蘭の主演で初演され、大成功を収めます。

この5幕韻文劇の時代設定は1640年です。詩人で軍人、豪快にして心優しいシラノは鼻が大きい醜男なので、才色兼備な従妹ロクサーヌに対する恋心を彼女に打ち明けることができません。そのような時に、ロクサーヌから彼と同じ青年隊にいる美男子のクリスチャンに恋をしていると告白され、シラノは自分の心を抑えて二人の恋の仲立ちをすることにしました。文才のあるシラノは、不器用なクリスチャンに愛の言葉を教え、手紙も代筆してやります。クリスチャンが戦死し、シラノが修道院に入ったロクサーヌに会いに行った時に、彼が薄暗い中でクリスチャンの手紙を読み上げた様子から、ロクサーヌはシラノの真情に気付くのでした。

本学図書館所蔵本は、パリのファスケル社から1898年に出版された初版本です。